

森林を守る

森林が人々の暮らしを守る。



古川 弘忠 参事

武雄杵島森林組合の業務は武雄杵島地区の森林の育成と木材の生産です。作業は季節によって変わり、夏場には幼木の除草刈り、冬場に間伐などを行っています。また、十分に成長した木は伐採し、その後は苗木を植えて育てるというサイクルです。森林は適切に手入れを行うことで災害に強く、私たちの暮らしを支えています。

近年、担い手不足が課題とされている林業ですが、自分が植えた木の成長を年々感じられるなど、頑張った成果が景色に現れやがいを感ずることが出来る仕事です。興味・関心がある方、ぜひ、私たちと一緒に働いてみませんか？



森林組合HP

武雄杵島森林組合
定期的な管理で
災害に強い山に



古賀 徹之 会長

武内町親林会では平成3年9月の台風により森林に大きな被害を受けたのをきっかけに、平成5年に結成し、現在12名で活動しています。主な活動は、地元の小学生を対象にした森林学習とチェーンソーの目立て講習会です。森林学習会では実際に作業現場へ出向き、子供たちにノコギリで丸太を切ったり、重機に乗ったりするなど体験を通して森林を身近に感じてもらうことができます。子どもたちから「楽しかった」「ノコギリの使い方を体験できてよかった」という声を聞くと、開催してよかったと感じます。また、町民の方に森林への関心を持ってもらうことを目的にチェーンソーの目立て講習会を開催しています。

武内町親林会では、引き続き地域の方々に森林について関心を持っていただけるよう、活動をしていきたいと思っています。

武内町親林会
森林への関心を身近に



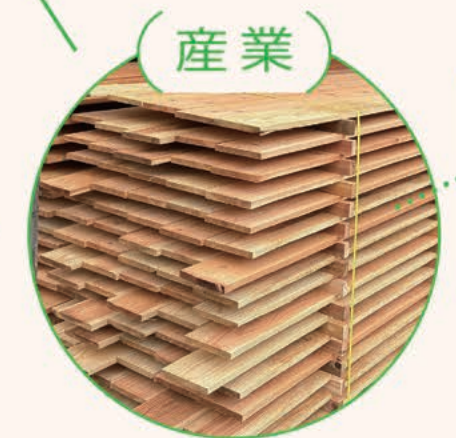
防災

森林は光合成を通じて、地球温暖化の主要因である二酸化炭素を吸収して酸素を放出し、樹木の中に炭素を蓄えることで成長します。これにより、地球温暖化を防ぎ、空気をきれいにして生活環境を快適にすることができます。また、豊かな水を貯え、水をきれいにし、いろいろな動物の住処となります。

森林の樹木は、根を地中に深く張り巡らせ、土砂をしっかり固定します。また、落ち葉や下草が地面を覆うことで、雨水による土壌の浸食や流出を防ぎます。これにより、土砂崩れや、がけ崩れなどの土砂災害を抑制する効果があります。



環境



産業

木材やきのこ・山菜等の生産の場となり、木材以外のチップ材はバイオマス燃料として発電に使われます。

(森林のサイクル)

武雄市の人工林のうち、
35年生以上の
伐採期を迎えた森林

90%以上

※標準伐期齢(標準的な立木の伐採時期)…スギ35年、ヒノキ40年

スギやヒノキ等の人工林は、人の手で植えられた木で、伐採して木材になります。人工林は伐採した後、自然にまた成長しないので、木の苗を植える「植林」を行います。(田んぼと一緒にですね。)これが30年から50年のサイクルで行われるので、林業は世代を超えて受け継がれる産業と言えます



人工林の多くが今伐採の時期を迎えているんだね！
伐採をして、また新たに森を育てる植林も大切だね



武雄市農林課

森林は市の多くの面積を占め、暮らしに様々な恵みをもたらしています。しかし、近年「所有している山林の場所がわからない」、「相続登記をせずに亡くなった方の方の名義のままになっている」といった相談が少なくありません。

「相続登記の義務化」や、森林環境譲与税を活用し、市が民有林の管理を担う「森林経営管理制度」等について次のページに紹介していますので、森林を所有している方も、そうでない方もぜひご覧いただき、森林のことを考えるきっかけにしたいだけ幸いです。

農林課 野田

